

めざす児童像
(1)自ら考える子
(2)周りを大切にできる子
(3)挑戦できる子

〒619-1152
木津川市加茂町里西上田11-1
木津川市立加茂小学校
TEL 0774-76-2102
FAX 0774-76-8002

コロナに負けない素晴らしい六年生を送る会

十一日の金曜日に六年生を送る会を行いました。今年の六年生を送る会は、コロナ感染拡大予防のため、保護者の方や全校児童が、体育館に集まって実施することはできませんでした。各学年の六年生への出し物は、事前に録画した映像を各クラスで鑑賞することにしました。どの学年も自分たちが今できることで工夫を凝らし、感謝の気持ちがかもったとても素敵な内容でした。

当日に向けての取組では六年生の教室、下駄箱、階段の装飾、六年生の似顔絵やプロフィール、招待状やプレゼントなど、全校のみんなが一人一人心を込めて丁寧に仕上げてくださいました。昇降口や階段を通り抜けると、みんなの心の優しさや暖かさに包まれた感じがして心がほかほかしてきました。

最後には、六年生からのライブ配信の出し物がありました。合奏や歌、言葉のメッセージなど、緊張感のある気持ちの込められた素晴らしいパフォーマンスでみんなに感動を届けてくれました。在校生のみんなにも、憧れと希望をしっかりと残してくれたと思います。次に最高学年となる五年生も、例年とは異なる取り組みで、戸惑いもあったと思いますが、準備や当日の進

校長 久保 嘉章



3月 行事予定

日	曜日	行 事
3/1	火	委員会校時,委員会,体重測定(5.6年)
2	水	体重測定(3.4年)
3	木	体重測定(ひ.1.2年)
7	月	スクールカウンセラー来校日
8	火	クラブ活動
9	水	地域子ども会
10	木	集会クラブ校時,児童朝礼,人権の日,クラブ活動 ICTサポーター来校日
11	金	短縮校時開始,全校A5校時
14	月	B5校時
15	火	B5校時,安全の日(登校指導)
16	水	B5校時,6年給食終了
17	木	B4校時,1-5年給食終了
18	金	B4校時,卒業証書授与式
21	月	春分の日
24	木	B4校時,修了式・大掃除

2月25日現在の予定です。状況により、変更があった場合は、随時お知らせメールでお伝えします。ご了承ください。



セーフティボランティアさん いつもありがとうございます

本校のセーフティーボランティアの皆様には、年間を通して毎日、暑い日も寒い日も、雨の日も加茂小学校児童のために登下校を見守ってくださり、本当にありがとうございました。

セーフティボランティアの皆様へ感謝の気持ちとして、1年生からプレゼントをお渡ししました。今後ともよろしくお願いいたします。



六年生を送る会



対面での発表は感染予防の観点から実施できませんでしたが、1～5年生は発表動画を作り、6年生に感謝の気持ちを伝えました。その思いに6年生は合奏・合唱を生中継して応えました。例年とは異なる形式でしたが、今年度の送る会のテーマである「全校が希望と勇気を持てる6年生を送る会にしよう～今しかできないことを精一杯取り組み、みんなで次のステージに進もう～」を達成することができました。

今年度も、次の理由から単学級を除くすべての学年の進級時に学級編制替えを実施いたします。

趣旨をご理解いただき、引き続き、学校運営にご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

○豊かな人間関係を培う
新しい集団の中で、より多くの友だちと出会う体験をとおして、子ども同士で切磋琢磨する機会を増やす。

○子どものよさを伸ばす
子ども一人一人が、それぞれのよさや持ち味を発揮する場面を増やす。

○望ましい集団を自らの力でつくりあげる経験を増やす
新たなメンバーで協力し、まとまりながら学級や学年集団を自らの手でつくりあげる機会をより多く経験させる。

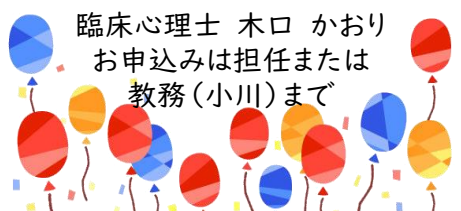
○子どもを多面的にみる
子どものよさを一人の教師だけでなく、学年をはじめより多くの教師の視点でみる。

令和四年度 学級編制替えについて

スクールカウンセラー 来校日

3月 7日(月)
ともに10:00～18:00
(最終受付17:00)
相談時間は45分です

今年度最後の相談日となります
お気軽にご相談ください



人権きりりコラム 「その言葉は」

人を傷つけない。そう思っている、大人や子どもを問わず、ふとした時に、自分の言葉が人を傷つけてしまうことがあります。自分と好きなものが違ったり、自分と見た目が異なっていたり、得意や苦手が違ったり...その時に「一言」。口から出た言葉は取り戻すことができません。だからこそ、言葉にする前に、「もしかしたら、この言葉が誰かを傷つけるかも。」と考えると、その言葉は思いやりをまとったものになります。

言葉が凶器となってしまった悲しい事件を耳にする事が増えました。言葉は、人を傷つけるものではなく、人を喜ばせ、幸せを感じるために使われるべきです。言葉をどの様に使って行くのかは、自分次第です。